

展示室1 近代イギリスの油彩画



サー・ジョシュア・レイノルズ
「エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像」

郡山市立美術館では、昨年「久留米藩士入植130周年記念 石橋美術館所蔵名品展」を開催しましたが、それと同時期に石橋美術館では、当館所蔵作品による「ノスタルジア 11.11.11 郡山市立美術館のイギリス美術」展が開催されていました（平成20年10月11日～12月14日）。イギリス美術のみならず、イギリスへ留学した画家たちを紹介したその展覧会を通じて、当館のコレクションが質・量ともに充実したものであることを、姉妹都市である久留米市の方々に知っていただくことができました。

今回の常設展示室1は、その凱旋展として、イギリス絵画の油彩画を展示します。肖像画と風景画、そしてラファエル前派といった、イギリス美術の粋をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホーガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1759-67頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンパーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84	油彩・キャンバス
アルバート・ジョセフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914	油彩・キャンバス
サー・アルフレッド・イースト	九月の陽光		油彩・キャンバス
フランク・ブランギン	花園	1900頃	油彩・板
フランク・ブランギン	ヴェニス・運河	1924	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914頃	油彩・キャンバス

展示室2 冬の風景



中川一政
「冬の郊外（惹畑）」

風景画の歴史は意外と新しく、西洋も東洋も、もちろん日本もはじめは歴史画や肖像画などの背景や周囲に添えられて描かれていたのが、のちに1ジャンルとして独立しました。

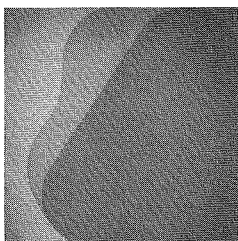
西洋では、穏やかで暖かみのある、理想的な風景ということで、春や秋を描いた風景画が好まれましたが、四季の区別がはっきりしている日本では、中世の山水画以来、きびしい冬の風景も多く描かれました。日本画はもとより、洋画家たちも冬の風景を描いています。

今回は、当館の収蔵作品の中から、日本画、油彩画、水彩画、版画など冬景色を描いた作品を展示します。同じテーマでも、それぞれの作家の個性や技法の特色などでも違いがありますから、そちらの方面からも楽しんでください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
南 薫造	雪のニコライ堂		油彩・スケッチボード	
百武兼行	風車のある風景	1877(明治10)	油彩・キャンバス	
中川一政	冬の郊外(惹畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス	
内田 巖	佃風景	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
亀井竹二郎	「石版・懐古東海道五十三驛真景」油彩原画 神奈川／品川	1878(明治11)頃	油彩・紙	
河合新蔵	武州五日市の雪景		水彩・紙	
小寺健吉	飯坂温泉		水彩・紙	
菊地養之助	雪野	1976(昭和51)	紙本着色	菊地一郎氏寄贈
安藤重春	皎	1987(昭和62)頃	紙本着色	安藤ヒサヨ氏寄贈
満谷国四郎	冬	1922(大正11)	油彩・キャンバス	
片多徳郎	残雪の庭	1925(大正14)	油彩・キャンバス	
南 薫造	雪の日の東京	1933(昭和8)	油彩・スケッチボード	
大下藤次郎	春雪の茶屋		水彩・紙	
吉田 博	積み藁のある風景		水彩・紙	
中西利雄	ヴァンスの雪	1929(昭和4)	水彩・紙	
黒沢吉蔵	野の風景	1965(昭和40)	紙本着色	
福田利秋	魚網修理(1)～(3)	1978(昭和53)	木版・紙	

展示室3 アートの広がり—近代から現代へ



リチャード・ゴーマン
「フラット(ナイン・ペインティングより)」

近代から現代にかけて、美術の世界では芸術家たちが独自の表現やスタイルを模索し、さまざまな様式や運動、主義、芸術概念が誕生しました。シュルレアリスムや抽象絵画、アンフォルメル、ポップアート、広大な土地に作品を制作するランド・アートといったものまで、現在でもアートは様々な広がりを見せています。

今回は、近代から現代へかけて多様に変化する作品の数々をご覧ください。芸術家が既成の価値観にとらわれず制作した作品からいろいろなことを想像してみましょう。また作品を読み解くのも面白いかもしれません。美術の世界のさまざまな展開をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
エドゥアルド・パオロツィ	零エネルギー実験電池Vol. 1	1970	リトグラフ、シルクスクリーン・アクリル	
ウィリアム・スコット	ホワイトボウルとブラックパン	1970	シルクスクリーン・紙	カサハラ画廊寄贈
パトリック・コールフィールド	ジュール・ラフォルグの詩(A版)	1973	シルクスクリーン・紙	
クリスト	日本とアメリカ合衆国とによる共同計画アンブレラ(青)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗料・紙	
クリスト	日本とアメリカ合衆国とによる共同計画アンブレラ(黄)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗料・紙	
アラン・グリーン	ドローイング339	1995	ミクストメディア・紙	
リチャード・ゴーマン	フラット(ナイン・ペインティングより)	2000	油彩・キャンバス	
アントニー・ゴームリー	領域Ⅷ	2000	ステンレス、スチール棒	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
アントニー・ゴームリー	量子雲	2000	アニリン塗料・紙(3枚組)	
白木正一	予感	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	
今井俊満	コンポジション	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	
菅井 汲	黒	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	
佐藤 敬	石の対話	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	

展示室4① 版画のなかの着物



山本昇雲「今姿 花かげ」

新春の風物詩といえば、凧揚げ、羽根つき、双六、福笑いなどの懐かしい遊びや髪を結った晴着姿などがありますが、どれも今ではあまり見かけなくなりました。今回は、版画の中に描かれた着物をご覧ください、年の初めに華やぎを添えたいと思います。

物語や歴史上の人物を主題にした版画では、時代によって髪型もさまざまな着物姿があらわされました。また、晴着ばかりではなく生活に密着した日常の着物姿を描いた作品もあわせてご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
浅間利恵子	新吉原名妓喜代	1882(明治15)	石版・紙	
矢島智三郎	貴顕令嬢	1888(明治21)	石版手彩色・紙	
	廓乃花	1892(明治25)	石版手彩色・紙	
藪崎芳次郎	愛犬之図	1888(明治21)	石版手彩色・紙	
	東美人	1889(明治22)	石版手彩色・紙	
	目黒之牡丹競	1891(明治24)	石版手彩色・紙	
熊澤喜太郎	宮中和歌詠図	1888(明治21)	石版手彩色・紙	
	今金時	1891(明治24)	石版手彩色・紙	
	東京名妓 品川やっこ	1892(明治25)	石版手彩色・紙	
平澤源八	貴顕之令嬢	1889(明治22)	石版手彩色・紙	
荒川藤兵衛	婦人弹琴之図	1889(明治22)	石版手彩色・紙	
渡部忠久	美人花生之図	1889(明治22)	石版手彩色・紙	
	静御前雪中吉野袂別之図	1889(明治22)	石版手彩色・紙	
	常盤御前之図	1890(明治23)	石版手彩色・紙	
波々伯部繁	芸妓競(『改新新聞』附録)	1893(明治26)	石版・紙	
町田信次郎	美人園	1896(明治29)	石版・紙	
太田節次	江の島真景	1893(明治26)	石版手彩色・紙	
	待乳山之真景	1896(明治29)	石版・紙	
小山正太郎、二神純孝	『西洋画譜(第四帙)東京真景(第三)』より	1890(明治23)	石版・紙	
	「亀井戸梅林」「墨堤晚櫻」「東台早櫻」「飛鳥山春霞」「洲崎汐干狩」「愛宕山晚眺」「瀧野川紅葉」「団子坂菊花」			
斎藤 清	作品		木版・紙	
	作品		木版・紙	
安井曾太郎	『安井曾太郎版画集』より			
	正月娘姿	1933(昭和8)	木版・紙	
	レコードを聴く人	1935(昭和10)	木版・紙	
新収蔵作品より				
楊洲周延	『江戸錦』より	1898(明治31)	木版・紙	亀井よし子氏寄贈
	「はつゆき」「雪かき」「お庭あるき」「卯月八日」「ふじ」「たなばた」「きん魚」「五十三次」			
宮川春汀	『美人十二ヶ月』より	1898(明治31)	木版・紙	亀井よし子氏寄贈
	「追羽子」「観梅」「桜かり」			
山本昇雲	『今姿』より	1906~1909(明治39~42)	木版・紙	亀井よし子氏寄贈
	「酔いけしき」「花かげ」「ひなまつり」「おこしかけ」「ゆり園」「おどろき」「すずし顔」「おこわ」			

展示室4② 暮らしのなかの工芸



遠藤兆映 「香器・樹海」

身近にある工芸品の中には、さまざまな素材や多彩な技法が使われています。

たとえば、金属の器には、銀や銅や真鍮などの色の輝きによって、まったく趣の異なった作品が生まれます。また、やきものには、陶土の種類、焼成する温度、そして表面に施された絵付や釉薬など、さまざまな要素から生まれる美しさがあるといえるでしょう。

今回は、こうした工芸品の中にある美しさと、豊かな素材感をお楽しみいただきたいと思います。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
遠藤兆映	香器・樹海	1988(昭和63)	銀	遠藤兆映氏寄贈
遠藤兆映	花王清風	1993(平成5)	銀・金	遠藤兆映氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		銅・真鍮・鍛鉄	
クリストファー・ドレッサー	ファイヤー・ドッグ(暖炉の薪台)		真鍮	
クリストファー・ドレッサー	孔雀象眼模様円形皿		銅・真鍮・銀	
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮・木製把手	
浜田庄司	黒釉鑄流描角皿		陶器	麻山富義氏寄贈
浜田庄司	鉛釉花打茶碗		陶器	
浜田庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア	
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961年	磁器	
田村耕一	鉄絵野草図楕円鉢	1963(昭和38)頃	陶器	麻山富義氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く1		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶皿に描く2		陶器	寄託作品
	黒釉一重口水指	桃山~江戸時代(17世紀)	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
三輪休雪(11代)	白萩茶碗	大正~昭和	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
加藤土師萌	絵唐津茶碗	昭和	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
仁阿弥道八	刷毛目鉢	江戸時代(19世紀)	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
折笠兆春	永遠の空	1996(平成8)	乾漆	折笠兆春氏寄贈
佐藤潤四郎	ブルー花器		宙吹	
佐藤潤四郎	花器アダムとイブ		ガラス	
佐藤潤四郎	花器		宙吹・エッチング	
佐藤潤四郎	花器		鍛鉄吹入・雲母封入	

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
●1階エントランス				
柳沼曹雲	陽		石膏	柳沼薫氏寄贈
●1階展示ロビー				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
●1階サブエントランス				
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石	寄託作品
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
山本正道	帽子を被る男の肖像	1970~74(昭和45~49)	ブロンズ	
舟越保武	少女	1956(昭和31)	砂岩	
●屋外				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

※作品は都合により一部展示替えを行うことがあります。